

ふれあい通信

令和4年7月20日発行

生活支援課 主幹 常見真佐美

施設移行について

羽生園は、生活保護法第38条、保護施設の中の救護施設です。救護施設とは、身体上または、精神上著しい障害があるために日常生活を営むことが困難な要保護者を入所させて、生活扶助を行うことを目的とする施設と定められています。これは、身体・知的・精神の障がい者だけでなく、社会生活に適應できない方やホームレスの方など、あらゆる問題を抱える要保護者を幅広く受け入れるセーフティネットとしての役割を有しています。

入所後は、日常生活支援（生活扶助）から始めます。保護前の不安定な生活から、食事や睡眠、入浴、服薬など安定した日々を過ごすことによって、その人らしい生活が戻ってきます。健康的な生活が安定すると、社会生活自立支援として、外出や作業参加、サークル活動等を通じて、コミュニティの一員としてのかかわり方を認識していくようになります。

昔の救護施設の役割としては、日常生活支援・社会生活支援まででしたが、今は、通過型施設として、自立支援・地域生活移行支援が求められています。羽生園では、他施設・地域生活移行委員会が中心となり、①他施設移行（高齢者・障害者施設）②自立生活（アパート等）を進めていきます。①他施設移行のケースは、委員会でフローチャートを基に対象者を検討し、嘱託医へ確認後、結果を含めて経営委員会に提案していきます。②自立生活のケースは、個別支援計画で自立支援を行い、地域生活移行に必要な評価を行います。基準に達した場合、嘱託医へ確認後、結果を含めて経営委員会に提案していきます。両ケースともに、経営委員会で承諾を得られると四者面談（本人・実施機関CW・家族・羽生園職員）を実施します。四者面談で施設移行に合意があった場合、自立・他施設移行に向けて支援が開始されます。

実際の施設移行を御紹介しましょう。

40代 女性 障害区分5 移行先 日中サービス支援型障がい者グループホーム

羽生園の入園者の平均年齢から約20歳も若いことや、障害のため和室での生活のしづらさからくるストレスでトラブルが多く、令和2年10月に他施設移行について経営委員会に提案して承諾されました。同月には四者面談を行い、他施設移行の支援が開始となりました。令和3年7月、障がい者支援センターの相談員と面談し、障害区分の認定後はグループホームの選定を進め、K市に新しくできるグループホームに見学を行いました。令和4年1月に入所予定だったのですが、開設が遅れたため12月に2回、1月に1回、同系列のグループホームでショートステイをしながら開設を待ち、令和4年3月に施設移行となりました。施設移行後は、個室、ベッドの環境でストレスが軽減され、毎日楽しく充実した生活を送っているそうです。

このように、他施設移行が実現するまで、様々な関係機関との連携が必要になってきます。「入園者にとって本当の幸せは何か」を考えながら、通過型の救護施設の役割を果たすため、活動していきたいと思っていますので御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

ドライブ外出



毎年、春の訪れを感じるために桜の花を中心としてドライブ外出を行っています。近年はコロナウイルス感染症予防でバスから降りることが出来ませんでした。

今年は羽生市や行田市内を中心として車窓から花見をし、「古代蓮の里」ではバスを降りて桜を觀賞しました。久しぶりの外出に希望される入園者も多く、思い思いに桜を觀賞したり、公園の遊具で身体を動かすなど春の景色の中、屋外での活動を楽しんでいました。最後に記念写真をパシャリ。楽しい一日となりました。



旅行弁当



新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、毎年秋に実施している日帰り旅行と一泊旅行は、残念ながら中止する事になりました。そこで、旅行の代わりとなる「お楽しみ旅行外出」を計画しました。内容は、入園者全員を対象とした豪華弁当とドライブ外出を組み合わせた行事です。

豪華弁当は、見栄え・食べ応えのある物を入園者と一緒に選びました。普段食べることのできないものや色鮮やかな盛り付けに、見た目もお腹も満足しました。



HAPPY BIRTHDAY

誕生日の紹介

おたんじょうび
おめでとう!

羽生園にはおよそ 100 人の方が入所されています。お誕生日には、昼食時に職員からお祝いの言葉とサブレを贈っています。ちょっとしたプレゼントではありますが、皆さんの前で祝福してもらえるので誕生日当日を迎えるのを心待ちにしています。また、誕生日の朝には胸にリボンを付けるため、職員や入園者から「おめでとう」と声を掛けられ、特別な一日となります。



羽生園の生活風景

一日の日課の中で水分補給を兼ねたお茶休憩の時間を設けています。各自で水分補給を行う事も出来ますが、感染症予防に効果があるとの話を聞き、紅茶を提供する様になりました。また、密にならないように休憩場所を2カ所に分けた事もあり、時間になると、レストランやいこいの広場に入園者が集まりテーブルにゆったりと腰掛け、談笑する光景が毎日見られています。





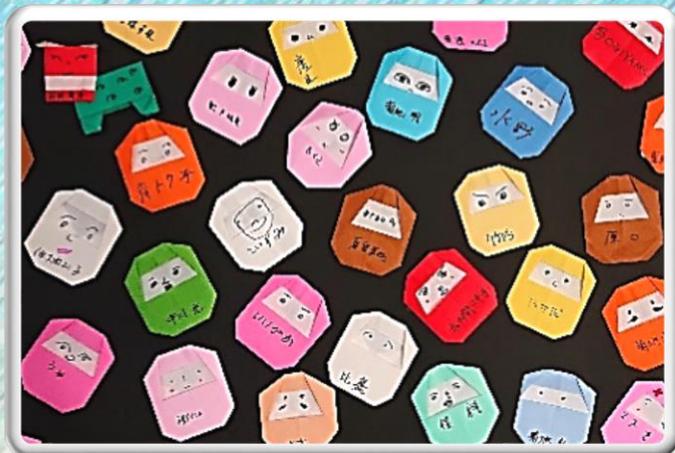
年末年始の生活



カラオケで歌声を披露



毎年恒例の書き初め大会



折り紙のダルマを皆さんと作成しました。



徒歩数分の神社にお参りにでかけました。



映画鑑賞も間隔を取り観賞しました。



今年はいつもと少し違う過ごし方を入園者の皆さんに提案してみました。



一つ目は、映画館気分を味わってもらうため、レストランで映画鑑賞の時間を作ってみました。プロジェクターを使用し、左右のスピーカーから出る音が本当に映画館で観ているようで、入園者から「また観たい。またやって。今度は違う映画を観たい。」とうれしい感想が聞かれました。



二つ目は、毎年行っている書道や絵画の作品展に替えて、入園者全員で参加できるようなものを作ろうと考えました。全員となると何がいいのかといろいろ考えた結果、折り紙で折ったダルマに顔と名前を記入してもらうことにしました。みんな書いてくれるのだろうか不安もありましたが、声を掛けて丁寧に説明をしました。自分の書いたダルマの顔に笑ってしまったり、本人に似ていたり、みんなで互いに見せ合い、楽しみながら貴重な時間を過ごすことができました。絵心のある人、遊び心のある人、同じ折り紙で作ったダルマですが、個性があり一つ一つ違う顔が出来上がりました。全員で作ったダルマは、色画用紙に貼って、エントランスに掲示しました。入園者の皆さん、職員さんの協力があって素晴らしい作品展になりました。



羽生園 簡単レシピ紹介



茹でた豚肉はヘルシーに出来上がりました

ゆで豚の辛子味噌かけ材料（3人前分）

- 豚もも薄切り 300g
- 酒 少々
- 和風だし 少々
- 味噌 30g
- 砂糖 15g
- 酢 15g
- 醤油 15g
- 辛子 15g

◆ 作り方 ◆

- 1 味噌、砂糖、醤油、酢を合わせる（少し甘めでもよい）
合わせたタレに辛子を入れる（好みの辛さまで）
- 2 水に酒、和風だしを入れ、沸騰したら、豚肉を茹でる（茹ですぎないように注意）
すぐに食べる場合、氷水または、冷水にさらし、キッチンペーパーで水気を取る
- 3 豚肉を皿に盛りつけ、タレをかけて完成です。



コロナワクチンの接種



注射は皆さん嫌いなようです。



注射前の問診を一人ずつ医師がおこないます。

新型コロナウイルス感染症対策の一環として令和3年6月よりワクチン接種を行いました。密を避けること、副反応による体調不良の方が出た場合の対応を考慮し入園者は3つのグループに分かれていただき接種を行いました。また、職員も2つのグループに分け、副反応による勤務困難を考慮し接種翌日は休暇を取るといった万全の体制で対応しました。接種後の副反応についてですが、入園者においては、数人発熱が見られましたが解熱剤を服用し翌日には軽快されております。職員は年齢的な事もあり発熱、倦怠感等の症状が顕著に見られている職員もいました。入園者、かかりつけ医院の先生、スタッフの協力もあり現在3回目の接種を終えております。その甲斐もあってか当園では新型コロナウイルス感染症は発生しておりません。今後も引き続き気を緩めることなく感染症対策の徹底を図っていきたいと思います。



永年勤続者紹介



羽生園で働き始めて今年で20年になりました。必死に働いていたら、すっかり歳も取っていました。今では後輩もでき、仕事を教える立場となりましたが、これからも学びを忘れず羽生園で皆と共に頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。



入職して20年目になります。この期間にたくさんのお会いや別れ、いろいろなことができました。それでも勤め続けていられるのは先輩や後輩、そして頼ってくれる入園者のおかげです。これからも働きやすい職場、環境を心がけ頑張っていきたいと思います。

当園では、入園者の日頃の様々な悩みや相談を解決するため、月に2回「相談日」を設けております。令和3年度中の相談件数は48件あり、苦情解決、第三者委員に諮る内容のものはありませんでした。コロナの感染状況を踏まえながら、行事の縮小、再開、中止、外来者の制限、緩和などの予防策を講じたことで、外出や、面会などに関する相談が例年よりも多くなりました。相談があったものについては、相談者に確認を取りながら、善処もしくは現在も検討しております。

悩み事の相談

苦情内容	相談件数	解決状況
食事	3件	3件
利用者	9件	9件
看護・医療	5件	4件
地域生活移行	6件	5件
日課に関する事	14件	14件
社会生活自立	4件	4件
居住環境	1件	1件
その他	7件	1件

編集後記



昨年もコロナウイルスの感染対策に追われた一年でしたが、あたらしい生活様式の変化に混乱しながらも皆様のご協力により施設内の感染者は出ずに1年を過ごすことができました。そのような中、行事内容の縮小・変更などを余儀なくされていますが、工夫を行いながら入園者にとって楽しみな一日となるように実施しています。まだまだ安心はできませんが、今できることを大切に羽生園全員で乗り越えて行きたいと思います。

今年は縮小しながらも入園者の楽しみとしていた外出に行く事もでき、久しぶりの外出で皆さん買い物を楽しんでおりました。来年度のふれあい通信発行は令和5年7月20日の発行を予定しております。

研修・広報委員会 企画発行 山岸、漆原、藍原、坂下、矢島、小林